

ご自身やご家族が、
認知症について心配や不安になったら…



令和6年3月
改定版発行

東郷町認知症ケアパス

をご活用ください

認知症ケアパスとは？

認知症ケアパスは、認知症の進行状況に合わせて、具体的に起こる症状や様子、生活のヒント、地域のサポートやサービスについて、具体的なイメージを持つことができるように示してあります。

認知症について心配や不安がある方や、認知症と診断された方が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためのヒントが掲載された冊子です。



【掲載内容】

- ・認知症の経過とポイント
- ・「あれ？おかしいな」と感じたら、早めの受診をお勧めします！！
- ・認知症の相談・診療ができる
町内医療機関一覧
- ・自分のこと・家族のこと 相談先一覧
- ・自宅での暮らしを続けるために
- ・認知症カフェ＆通いの場・講座
- ・認知症当事者の暮らしの知恵袋
- ・認知症について
- ・若年性認知症について



「認知症が心配…」
そう感じたら…
悩まず相談を★

【配布先・相談先】

- ・東郷町役場 高齢者支援課
0561-56-0753
- ・東郷町北部地域包括支援センター
0561-38-8551
- ・東郷町南部地域包括支援センター東郷苑
0561-56-3112



認知症ケアパスの他にも、下記の冊子のご用意があります。



あったかいね
介護保険



在宅医療と
介護マップ



とうごうサロン
(つどい・通いの場)



とうごうくらしの
おうえんガイドブック



福祉のしおり
(東郷町)

【問合せ】 東郷町役場 高齢者支援課 0561-56-0753 (直通)

「あれ？おかしいな」と感じたら…

早めの受診をお勧めします！！



日常生活の中で「あれ？おかしいな」と感じたら、早く受診をすることをお勧めします。認知症は治らない病気と言われていますが、早期に受診することで、早期発見・対応が可能となり、治療を開始することで症状の進行を遅らせることができます。また認知症ではなく、ほかの病気の可能性もありますので、自己判断せずには受診を試みましょう。

また家族等の周りの支援者も、認知症への理解を深めながら、お互いが楽しく今までどおり生活が送れるよう、環境を整えることができます。

受診のSTEP ～一歩ずつやってみよう！～

STEP

1

「あれ？おかしいな？」と感じたら、気になることをメモなどを書いてまとめてみよう！

認知症状について、気になること、心配なこと、聞きたいことなど伝える内容を書き出してみましょう。書き出すことで、内容が整理できて、落ち着いて受診をすることができます。下記①②のポイントでメモ等にまとめてみましょう。

①認知症状について

- ◆ 気になる症状
- ◆ 気になる症状が始まった時期
- ◆ 変化に気づいてから、進行や悪化の有無やその状況
- ◆ 日常生活で、本人が困っていること
- ◆ 家族として、心配なことや気がかなこと



②認知症状以外の本人の状況

- ◆ これまでにかかった病気
- ◆ 障害者手帳等の有無
- ◆ 現在、治療中の病気
- ◆ 現在、服用している薬
(お薬手帳を持参するとよいでしょう)
- ◆ 食欲の有無や食欲の変化
- ◆ 睡眠がとれているか
- ◆ 支援者の状況
(世帯構成、支援や介入の頻度及び内容)
- ◆ 日頃の活動
(例 畑仕事、老人クラブ活動への参加、シルバー人材センターでの仕事等)

STEP

2

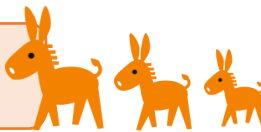
かかりつけ医に受診し、相談をしましょう

普段の状態を把握しているので、変化に気づきやすいです。また必要に応じて専門医療機関等を紹介することもできます。

ご家族と一緒に受診をされる場合は、普段の様子をよく知っている家族等と受診ができるとよいでしょう。

※認知症相談・診療ができる町内医療機関は東郷町認知症ケアパスを参照。

受診に不安やためらいがある時は…



※東郷町認知症ケアパスP4～P5と同一内容です。その他詳細は、東郷町認知症ケアパスをご覧ください。

受診に不安やためらいがある時は、まずは地域包括支援センターに相談してみましょう。その他、認知症地域支援推進員が相談に応じたり、「認知症初期集中支援チーム（オレンジケアとうごう）」と一緒に受診について考え、支援ができます。

また本人が受診に抵抗がある場合は、家族がかかりつけ医や地域包括支援センターに相談をすることが可能です。家族からの相談受診に対応している医療機関については東郷町認知症ケアパスをご参照ください。



認知症地域支援推進員とは？



地域包括支援センターに、1名ずつ認知症地域支援推進員を配置しています。認知症に関する相談があった際、専門知識を活かして相談に応じたり、地域のネットワークづくりに関わります。主な役割は下記のとおりです。

<役割>

1. 認知症についての相談支援

物忘れ症状がある方やその家族に対して相談・助言を行います。

2. 認知症の方が少しでも自宅で長く暮らせるようにお手伝い

認知症の方やその家族の状況に応じて、本人ができる限り、地域で安心して自分らしく暮らしていけるように、地域サポートを受けられるようお手伝いします。また、適切な医療・介護を受けられるように、関係者等への橋渡し役を担います。

3. 地域の方に身近な病気として認知症を理解していただくための活動

認知症サポーター養成講座や出前講座等で、認知症の正しい理解や対応方法、認知症予防などの普及活動を行います。



認知症初期集中支援チーム（オレンジケアとうごう）



認知症初期集中支援チームとは？

認知症サポート医、保健師、看護師、社会福祉士で構成するサポートチームです。認知症の方、または認知症が疑われる方への支援を早期に行います。

住み慣れた地域で安心して本人らしい暮らしが送れるように、早期に関わり、早期診断、早期対応に向けた支援を行います。

どんなことをしてくれるの？

ご自宅を訪問し、認知症についての気になる症状、心配なこと、日常生活での困りごと、不安等を確認させていただきます。その上で、ご本人やご家族の状況に合わせた、医療機関への受診や介護保険サービスの情報提供及び利用に向けて一緒に考えていきます。まずは地域包括支援センターにご連絡ください。

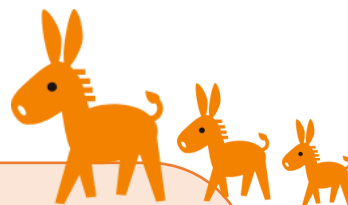


かかりつけ医とは



かかりつけ医とは、かぜをひいたときなど体調が悪いときに受診し、診察や薬を処方してくれる医師のことを言います。健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる、身近にいて頼りになる医師です。いつもと異なる症状を感じたとき、まず相談することができます。

かかりつけ医のない方は、健康診断等をきっかけに受診をしてみましょう。



認知症とともに生きるための8カ条

1. 認知症の診断で人生は終わらない
2. 認知症の正しい情報を得よう
3. 制度を知り、活用しよう
4. 家族だけで抱え込まないで
5. 仲間と支援者を探そう
6. 職場の上司や親族などに病名を伝えよう
7. 社会や地域とつながろう
8. 家族で話し合っておきましょう

※出展：公益社団法人 認知症の人と家族の会
『認知症と向きあうあなたへ』

Memo 

